

平成20年度 温州みかん改善技術

五島地域農業振興協議会

月	旬	生育相	主要管理	施肥	病虫害防除等	注意事項	
1		花芽分化開始	密植園の縮・間伐 堆肥の施用(2t/10a) 刈り込み 防風樹の刈り込み		黒星病 かいよう病 そうか病	枯れ枝・発病枝葉の除去 ・堆肥は樹冠下にスポット的に施用する。	
2		花芽分化完成	中耕、除草				
3	上					・冬期にマシン油無散布園ではマシン油97%60倍を散布	
	中下		整枝、せん定 高接ぎ更新	春肥	かいよう病 (発芽前) コサイドDF (クレフノン加用 1,000倍 200倍)	・発芽前に散布 ・樹勢が弱い樹にはコサイドDFは散布しない ・コサイドDFとマシン油乳剤とは2週間以上、テランフロアブルとは7日程度散布間隔をあける	
4	上中下	発芽 根伸長始	高糖度系の有葉花 摘らい		そうか病	デランフロアブル 1,000倍 ・発芽初期(2~3mm)頃散布する。 ・マシン油とデランフロアブルの散布間隔は薬害防止のため1ヶ月以上あける。	
5	上	開花始め			訪花害虫	モスピラン水溶剤 4,000倍 または スミチオン乳剤 1,000倍	
	中	満開		夏肥 (早生)	灰色かび、そ つか、黒点病	フロンサイドSC 2,000倍 EMダ イア-水和剤 800倍	
6	上	夏枝発生	荒摘果 (高糖度系除く)	夏肥 (普通)	ハダニ・カイガ ラムシ類 黒点病・スリ ッナス	マシン油乳剤97% 150倍 ジマンダ イオン水和剤 600倍	・アブラムシ並びにミカンハモグリ が発生園ではアブラマイア-フロ アブル4000倍、または、リ オン水和剤1000倍を散布す る。
	中下		仕上げ摘果(極早生)		黒点病	EMダ イア-水和剤 800倍	
7	上		仕上げ摘果(早生)		黒点病、スリ ッナス	ジマンダ イオン水和剤 600倍	・カイガラムシ、ロウムシ類、かき り発生園ではスチラサイト乳 剤1000倍を散布する。
	中		クハツマル被覆 枝つり				
8	上	秋枝発生	仕上げ摘果(普通)		黒点病・スリ ッナス	ジマンダ イオン水和剤 600倍	・カメムシ発生園では、 MRシヨ-カ水和剤2000倍を 夕方か早朝散布する。
	下						
9	上中下	着色始め	極早生マルチ除去 収穫(極早生) 早生マルチ除去 収穫(早生) 普通マルチ除去 収穫(普通)	秋肥 (極早生)	腐敗防止(極 早生)	ベフラン液剤 2,000倍 トップジンM水和剤 2,000倍	・腐敗防止は散布後 100mm以上降雨があれば 再散布する
10	上中下			(早生) (極早生)	腐敗防止(早 生)	ベフラン液剤 2,000倍 トップジンM水和剤 2,000倍	
11	上中下			(普通)	腐敗防止(普 通)	ベフラン液剤 2,000倍 トップジンM水和剤 2,000倍	
12	下				ハダニ、カイ ガラムシ類	マシン油乳剤97% 60倍	・十分量散布する(樹勢 回復のため果樹液肥特号 500倍を混用)

施肥基準 (10aあたり) 年間施肥成分量 単位: kg

区分	普通温州			早生・極早生温州		
	窒素	リン酸	加里	窒素	リン酸	加里
収量 3ト	2.5	2.2	1.5	2.0	1.8	1.2
4ト	3.0	2.6	1.8	2.5	2.2	1.5

ごとう農協温州みかん用肥料(10-9-8)
あさひポ-ラス(16-16-10)

施肥期及び窒素成分施肥割合 (収量3トの場合)

区分	時期	春肥		夏肥		秋肥	
		3月上	5月中~下	9月下	10月下		
極早生	割合	40%		30%	30%		
	肥料 目安	ごとう農協温州みかん用 4袋		ごとう農協温州みかん用 3袋	3袋		
	時期	3月上	5月中~下		10月下		
早生	割合	45%	15%		40%		
	肥料 目安	ごとう農協温州みかん用 4袋	あさひポ-ラス 1袋		ごとう農協温州みかん用 5袋		
	時期	3月上	6月上		11月上		
普通	割合	35%	20%		45%		
	肥料 目安	ごとう農協温州みかん用 4.5袋	あさひポ-ラス 2袋		ごとう農協温州みかん用 5.5袋		

農業使用基準は平成20年1月21日時点のものです。使用前にラベルをよく読み安全基準を守りましょう。